

総合評価

受診施設名	登り保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成 26年 7月 14日

総 評	<p>社会福祉法人あけぼの会の運営する登り保育園は、待機児童の多い宇治市北部の地域ニーズに応えるため、360人定員で事業を運営しています。</p> <p>保護者や地域社会と力を合わせて児童福祉を増進し、多くの特別保育事業を手がけていることも特徴の一つです。①げんきに②なかよく③いたわる④やりぬくの保育目標はあけぼの会が取り組むすべての事業に一貫しており、各施設の造りや多様な行事に具現化されています。また、「京の子育て応援企業」認証も受けており、職員が整った職場環境の中で、保育に対する自らの思いや保育サービスの質の向上のために努力を重ねています。</p> <p>3歳児以上では、異年齢児保育を取り入れて、子ども同士の関わりを大切に、社会性を育むよう努めています。また、園が長年考え・実践してきた様々な経験が出来る環境と新しい遊具（モンキータワー遊具、ボールプール、アスレチックネット等）が整備されています。子どもたちが主体的に様々な体験ができる保育環境が工夫・充実しています。</p>
特に良かった点 (※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ内「園の概要」「保育の内容」に管理者の思いが明記され、会議においても管理者の責任は明確にされています。また、「ほーぷるのぼり」「のぼり児童館」などを運営し、入園時から子どもの育ちを積極的に進める家庭支援を実施し、事業報告にまとめています。今後を見据えた職員の人材育成も順調に進んでいることが見受けられました。 ・地域の方を茶道教室などの講師として招くなど、地域との交流・連携し、多くの事業を実施しています。また、地域の子ども（0歳から学童：小学校4年生まで）を広く支援し、見守ることを目指し、一時預かり事業、園庭開放、保育園体験事業、親子くらぶ、「アンデルセン登り文庫」等、多様な子育て支援活動を展開しています。 ・0、1歳児の保育は、分園「ぴっころのぼり」、分室「はなぞろえ」「キッズのぼり」でのゆったりとした温かい環境が整備され、本園との連携の下、0歳から就学前までの全ての子どもたちが、発達過程に応じてステップアップしていくシステムです。
特に改善が 望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の資質向上に向け全職員の研修計画を作成しています。職員が主体的に受講したい研修を選べるような体制は整っていますが、研修計画に沿った個別の目標を明文化し共有することが望めます。また、研修の評価について、次年度の個別研修計画に反映するとより良いでしょう。 ・不審者侵入に対するマニュアルを見直し全職員への周知徹底が望めます。オートロックや監視カメラ等、機械化は整備されていますが、人、保育士、職員の意識向上の取り組み（訓練など）を定期的実施されると良いでしょう。

※それぞれの内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	登り保育園
施設種別	保育所
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成26年7月14日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)		
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	B	B
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	B
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	B
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

- ・「入園のしおり」に保育の理念・基本方針・目標を載せており全保護者に配布、必ず資料をもとに説明をしています。また、月ごとに「見える化」「言える化」「聴いてるか」などテーマを決めて周知の徹底を実践しています。I-1-(2)②
- ・保育課程は保育理念、保育方針、保育目標に基づき編成されていますが、保護者の意向を配慮したものになるとなおります。I-2-(2)①
- ・保育課程の編成は、職員の参画の下行うとなおります。また、指導計画の作成は保育課程に基づいて行くと良いでしょう。I-2-(2)④
- ・保育課程・指導計画は職員に配布され、園のホームページで公開している事業報告内からも閲覧が可能です。今後保護者に対する周知の工夫が一層必要でしょう。I-2-(2)⑤
- ・ホームページ内「園の概要」「保育の内容」に管理者の思いが明記され、会議においても管理者の責任は明確にされています。また、「ほ-ぶるのぼり」「のぼり児童館」などを運営し、入園時から子どもの育ちを積極的に進める家庭支援を実施し、事業報告にまとめています。今後を見据えた職員の人材育成も順調に進んでいることが見受けられました。I-3-(1)①
- ・管理者は保育サービスの質の向上など、保育に対する自らの思いについて、理事会や職員会議、園内システムを通じて周知しています。また、園児の活動、保育の内容、保護者のアンケート等をデータ化し冊子として報告配布しています。I-3-(2)①

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

- ・経営状況の把握が的確になされ、地域のニーズに応じて施設数、職員数を増やすなど事業を取り巻く環境の変化に柔軟に対応しています。II-1-(1) ①
- ・職員の就業状況や意向を把握するため年末に管理職が職員一人ひとりと面談を実施しています。ノー残業デーを毎週設け、「京の子育て応援企業」認証も受けています。II-2-(2) ①
- ・職員の資質向上に向け全職員の研修計画を作成しています。職員が主体的に受講したい研修を選べるような体制は整っていますが、研修計画に沿った個別の目標を明文化し共有することが望まれます。II-2-(3) ②
- ・職員の資質向上に向けて、職員会議の場で個別の教育・研修計画の評価を実施しています。次年度の個別研修計画に反映するとより良いでしょう。II-2-(3) ③
- ・地域の方を茶道教室などの講師として招くなど、地域との交流・連携し、多くの事業を実施しています。II-3-(1) ①

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	A	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

・保護者アンケートを活用するなど、利用者からの意見に対して迅速に対応するよう心がけています。アンケートの記録・保存、結果を実践に反映するとともに、保護者からの相談にも積極的に応えています。Ⅲ-1-(2)②

・第三者評価を定期的に受診し、チェックリストの内容から園の課題発見、改善に努力しています。Ⅲ-2-(1)②

・サービス実施の記録が適切に行われ、管理体制も確立しています。ペーパーレス化とセキュリティ強化の目的でICTを活用した園内システムを導入し、園児の出欠状況など迅速な職員間の情報共有とプライバシーの確保が効率的になされています。Ⅲ-3-(1)②

・転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応として保育要録の送付を行っています。なお、保育要録以上の情報希望者には口頭で説明を行っています。Ⅲ-3-(2)①

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	B
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

- ・内科、歯科健診結果等を「健康記録」に記載し、保護者・職員間で情報共有に努めています。 IV-1-(1) ②、③
- ・調理の様子が見やすく、工夫された給食室(厨房)で給食提供が行われています。水分補給時に年長児がやかんを受け取り年少児にお茶を注ぐ場面が自然に見られ、園が推進している異年齢児保育の特徴が見られます。IV-1-(1) ⑤
- ・乳児への食事は、発達と個人差に配慮した食事提供がされていました。また、保護者へは、園での食事の様子を詳しく伝えたり、家庭での育児に役立つヒントが発信されていました。ホームページに毎日、献立や食育ポイント「こんなの食べたよ」を掲載し、保護者および地域への情報発信しています。IV-1-(1) ⑦
- ・アレルギー児には、専用のテーブルを用意したり、献立、食品を個別に確認してから配膳するなどの対応がされています。IV-1-(1) ⑧
- ・0、1歳児の保育は、分園「びっころのぼり」、分室「はなぞろえ」「キッズのぼり」でのゆったりとした温かい環境が整備され、本園との連携の下、0歳から就学前までの全ての子どもたちが、発達過程に応じてステップアップしていくシステムです。IV-1-(2) ①
- ・保育時は年齢・個人差に配慮した保育を実施しています。さらに年齢別に手洗い・衛生習慣の指導を丁寧に行なわれると良いでしょう。IV-1-(3) ②

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・地域の子ども（0歳から学童：小学校4年生まで）を広く支援し、見守ることを目指し、一時預かり事業、園庭開放、保育園体験事業、親子くらぶ、「アンデルセン登り文庫」等、多様な子育て支援活動を展開しています。「0歳から10歳まで預けて安心」とパンフレットに記載し、各情報（活動のお知らせ）も随時、発信しています。

・「第2登り保育園ばーぶるのぼり」では、宇治市北部地域子育て支援センターが設置されています。「ほっと広場」や「子育て講座」等の実施内容が本園でも情報管理されています。園長の話に「在園、卒園児だけでなく、地域の全ての子どもや保護者に登りパワー（支援）を広める」とあり、この思いが各支援事業の整備・実施に繋がっています。

・育児放棄などの虐待やその前兆が見られる保護者には、主任保育士、担当保育士等が適宜声をかけるなどの配慮を行い、信頼関係を築くと共にサポートに努めています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	IV-3(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	B

[自由記述欄]

・事故防止のためのチェックリストがあり、園が長年考え・実践してきた様々な経験が出来る環境と新しい遊具（モンキータワー遊具、ボールプール、アスレチックネット等）が整備されています。たとえ小さな怪我をしたとしても、大きな怪我には繋がらないような身体作り（遊びと経験）が保育の中で随所に見られます。事故防止についての説明は全保護者に向けて管理者が実施しています。 IV-3(1)③

・不審者侵入に対するマニュアルの見直し、全職員への周知徹底が望まれます。オートロックや監視カメラ等、機械化は整備されていますが、人、保育士、職員の意識向上の取り組み（訓練など）が定期的実施されると良いでしょう。 IV-3(1)⑤